

# ガイドラインに基づく支援プログラム及び個別支援計画作成について

そだち園

## 1 はじめに

そだち園にて行われる児童発達支援に関わる支援プログラム及び個別支援計画作成に当たっては、平成29年1月に制定された児童発達支援ガイドライン（以下ガイドライン）に基づき、そだち園の実情や個々の子どもの状況に応じて創意工夫を図り、提供する支援の質の向上に努めるためこの要綱を作成する。

## 2 ガイドラインに基づく支援項目について

ガイドラインに基づく提供すべき支援は大きく次の三つが挙げられており、これらの考え方を基に個別支援計画等を作成していく。又、特に本人支援の中にある5領域については本人理解のためのアセスメントとの中心にしていく。

### （1）発達支援

ア本人支援

イ移行支援

### （2）家族支援

### （3）地域支援

ガイドラインに基づく5領域とは次の項目のことを言う。

（ア）健康・生活

（イ）運動・感覚

（ウ）認知・行動

（エ）言語・コミュニケーション

（オ）人間関係・社会性

## 3 支援プログラム及び個別支援計画作成のためのアセスメントについて

支援プログラム及び個別支援計画を作成するために児童理解が最も大切な事柄となる。このためそだち園においては児童の発達や支援課題等を理解するために、ガイドラインに基づく5領域とともに他のアセスメントツールも必要に応じて使用していく。又、使用場面や作成場面は次のとおりとする。

### ◎見学时

#### ①乳幼児発達スケール（KIDS）

- ・見学时に保護者に記入依頼し、次回の面接時に提出してもらう。
- ・毎年度9月～10月に修正評価を行う。

#### ②感覚プロファイル（乳幼児感覚プロファイル）

- ・見学时に保護者に記入依頼し、次回の面接時に提出してもらう。
- ・変化が感じられるときには、随時再評価する。

#### ③遠城寺式乳幼児分析的発達検査表

- ・必要に応じて見学时の児童の様子を観察チェックする。

④入園希望調査票（5領域含む）

- ・見学時に保護者に記入依頼し、次回の面接時に提出してもらう。

◎入園のための面接時

①乳幼児発達スケール（KIDS）

- ・面接時に提出してもらい、評価・説明する。

②感覚プロフィール（乳幼児感覚プロフィール）

- ・面接時に提出してもらい、評価・説明する。
- ・評価する時間がない時には後日説明する。

③入園希望調査票

- ・面接時に提出してもらい、これに基づき面接する。

④太田 Stage 発達検査

- ・入園時に行い、評価・説明する。
- ・毎年度1月～2月に職員により再評価を行う。

◎その他（随時）

①新版K式発達検査

- ・心理士により毎年一度検査及び評価をし、保護者に伝える。

②田中ビネー知能検査V

- ・年長児の就学相談前に心理士が検査及び評価をし、保護者に伝える。

◎個別支援計画作成時

①個別支援計画に係る状況調書兼希望調書（5領域含む）

- ・前期分については1月～2月に保護者に配布し、2月中に提出してもらう。2月～3月に個別支援計画検討会議を行ったのち作成し、3月中に保護者に提示・説明し了解を得る。
- ・後期分については7月～8月に保護者に配布し、8月中に提出してもらう。8月～9月に個別支援計画検討会議を行ったのち作成し、3月中に保護者に提示・説明し了解を得る。
- ・作成に当たっては、日常場面での発達状況、及び保護者の希望等に十分留意する。又、この他様々なアセスメントツールによって得られた情報等十分に活用する。

②個別支援計画書

- ・個別支援計画は、保護者及び職員にとってどのような意識やモチベーションをもって支援に当たっていくのかの「道標」となるよう、支援項目及び支援内容については、あまり細かくなりすぎず、反対にあまり大雑把になりすぎないように留意する。
- ・支援計画の支援項目を達成することだけを目的にして、「何回行う」等具体的な数字を使った支援計画にならないように留意する。
- ・支援計画において児童の発達の段階の理解のため太田 Stage 検査における検査結果を利用し、具体的支援内容に関してはガイドラインの5領域に基づき作成する。又、支援計画の各項目が5領域のどこに該当するのかを支援計画上明確にする（項目に5領域の記番号を記入する）。

- ・個別支援計画における支援項目は「発達支援」が3項目、この他に「家族支援」、「地域連携」、「保護者連携」、「移行支援」等で1項目の4項目と、概ね1年を予測した「長期目標（方針）」、概ね6ヵ月を予測した「短期目標（方針）」、そしてこれまでの経過を踏まえこれからの大きな方向性を示した「総合的支援方針」の7項目について計画する。
- ・保護者に対する説明には、難しい言葉を避け、これまでの経緯、現状、今後期待できることなど懇切丁寧に説明し、了解を得る。
- ・そだち園における支援計画は親子登園（母子登園）を原則としているため、子育て支援となるような支援計画にしなければならない。

## ◎日々の支援場面

### ①保育・業務日誌

- ・園児の動き・職員の動き、一日の支援プログラムなどを記入する。
- ・支援内容の中で個別加算に該当する場合は記入する。
- ・会議・打合せ・来園者、給食の様子、健康管理に関する事柄などを記入する。
- ・この他ガイドラインに沿った内容になるよう留意しなければならない。

### ②個人記録と月のまとめ

- ・園児の状況、支援内容（本人支援・保護者支援・地域支援）などを記入する。
- ・必要に応じて支援内容（5領域）別にマーカーなどで色分けする。
- ・支援内容になかで個別加算に該当する場合は記入する。
- ・この他ガイドラインに沿った内容になるよう留意しなければならない。

#### 4 参考資料

##### ガイドラインに基づく5領域について

支援項目	(ア) 健康・生活
(a) 健康状態の維持・改善 (b) 生活のリズムや生活習慣の形成 (c) 基本的な生活スキルの獲得	①健康状態の把握 ②健康の増進 ③リハビリテーションの実施 ④基本的な生活スキルの獲得 ⑤構造化等により生活環境を整える
支援項目	(イ) 運動・感覚
(a) 姿勢と運動・動作の向上 (b) 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 (c) 保有する感覚の総合的な活用	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ③身体の移動能力の向上 ④保有する感覚の活用 ⑤感覚の補助及び代行手段の活用 ⑥感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応
支援項目	(ウ) 認知・行動
(a) 認知の発達と行動の習得 (b) 空間・時間、数等の概念形成の習得 (c) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	①感覚や認知の活用 ②知覚から行動への認知過程の発達 ③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 ④数量、大小、色等の習得 ⑤認知の偏りへの対応 ⑥行動障害への予防及び対応
支援項目	(エ) 言語・コミュニケーション
(a) 言語の形成と活用 (b) 言語の受容及び表出 (c) コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d) コミュニケーション手段の選択と活用	①言語の形成と活用 ②受容言語と表出言語の支援 ③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ④指差し、身振り、サイン等の活用 ⑤読み書き能力の向上のための支援 ⑥コミュニケーション機器の活用 ⑦手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用
支援項目	(オ) 人間関係・社会性
(a) 他者との関わり（人間関係）の形成 (b) 自己の理解と行動の調整 (c) 仲間づくりと集団への参加	①アタッチメント（愛着行動）の形成 ②模倣行動の支援 ③感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 ④一人遊びから協同遊びへの支援 ⑤自己の理解とコントロールのための支援 ⑥集団への参加への支援

5 5領域に基づいた個別支援計画状況調書兼希望調書、及び入園希望調書について

①状況調書兼希望調書（5領域部分抜粋）

項目	発達状況・日常生活の状況（具体的に記入してください）・希望などがあれば記入してください
健康・生活	健康状態・健康増進（睡眠・食事・排泄・偏食・咀嚼・嚥下・姿勢保持・用具使用）・身辺処理 ..... ..... .....
運動・感覚	姿勢・運動・動作・移動能力・保有感覚の活用（遊び方）・感覚の特性 ..... ..... .....
認知・行動	興味・関心・物の機能の理解・属性の理解（形、色、音、動物、植物等）・時間の概念・空間 ..... ..... .....
言語・コミュニケーション	発声・発語の状況（単語、文、名詞、動詞、助詞、接続詞等）・伝達（要求）方法・共同注意・文字 ..... ..... .....
人間関係・社会性	人との関係意識・模倣行動・感覚遊び・象徴遊び・一人遊び・協同遊び・集団参加・自己制御 ..... ..... .....

②入園希望調書（5領域部分抜粋）

		保 護 者 記 入 欄
健 康 ・ 生 活	健康状態	良 普通 風邪を引きやすい 下痢しやすい 便秘しやすい その他 配慮事項など具体的に記入して下さい・保護者の希望
	体格・体質	無 ・ 有 体重 _____ kg 身長 _____ cm 具体的に記入して下さい・保護者の希望 アレルギーなど具体的に記入して下さい・保護者の希望
	発作・服薬内容・通院等	ひきつけ・てんかん発作等 無 ・ 有 初発____才____ヶ月 現況（様子を具体的に記入して下さい） 服 薬 無 ・ 有 （ 開始 ____才____ヶ月、一日 回服用 ） 服 薬 名 _____ 定期検査 脳波 ・ 血液 ・ 心電図 ・ X線 ・ その他 _____ 医療機関 _____ 診療科目 _____ 主治医 _____ その他の医療機関、治療内容など具体的に記入して下さい
	食事	普通食 離乳食 その他 全介助 手づかみ スプーン 箸 道具の使い方、食べ方、及び、咀嚼、嚥下、姿勢保持、の様子など具体的に記入して下さい ：保護者の希望
	偏食	無 有 偏食の内容（食べる物食べない物）を具体的に記入してください：保護者の希望
	着脱	全介助 一緒に 一人で 脱ぐ、着る、ボタン、ファスナーなど具体的に記入して下さい：保護者の希望
	排泄	完成（ ____才 ____ヶ月） 未完成 オムツ使用 時間でさせる した後教える 予告可 具体的に記入して下さい：保護者の希望
	睡眠	____時頃から ____時頃まで寝る 寝つき 良 不良 困ること、大変なことなど具体的に記入して下さい ：保護者の希望
生 活	午睡	____時頃から ____時頃まで寝る 寝つき 良 不良 困ること、大変なことなど具体的に記入して下さい：保護者の希望
	特記事項	生活リズムなどに関することを具体的に記入して下さい：保護者の希望

		保 護 者 記 入 欄
運 動	運 動 面 ・ 操 作 面 ・ 姿 勢	運動の基本的技能・戸外遊び（遊具遊び・庭遊び）・室内遊び（遊具・おもちゃ遊び）・手の操作（微細運動→手指の細かい動き）・姿勢（からだの構え方、かっこう、態度）・得意なこと・苦手なこと・その他：保護者の希望
	・ 移 動 能 力	歩行・立ち上がり・座る・階段の昇降・走る・坂道・移動手段：保護者の希望
感 覚	感 覚 の 特 性	視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚・固有覚（身体の位置や動き、力加減を感じる感覚→力加減ができない、よく物を落とす等）・前庭覚（身体の傾きやスピード、回転を感じる感覚→乗り物酔いしやすい、姿勢保持が困難）等の様子、感覚の過敏・感覚の鈍麻・感覚の偏り：保護者の希望
認 知	興 味 ・ 関 心	どんな事、物に関心を持ちますか様子（得意なこと・苦手なこと）：保護者の希望
行 動	理 解 ・ 情 緒 ・ 行 動	情緒の安定（不安定）・喜怒哀楽の表現・多動傾向・行動上の特徴（性格等）・関係理解・場面理解・指示理解等：保護者の希望
	物 の 理	物の機能の理解・属性の理解（形、色、音、動物、植物等）・数量・大小理解：保護者の希望
	時 間 ・ 空 間	時計・何時頃かわかる・場所がわかる・建物等がわかる・道順がわかる：保護者の希望

		保 護 者 記 入 欄
言 語 ・ コ ミ ユ ニ ケ ー シ ョ ン	言 語 表 出 ・ 言 語 理 解	言葉の使い方（名詞、動詞、助詞、形容詞、接続詞等）・言葉の理解のされ方・コミュニケーション等具体的に記入してください 発声 なし あり : 有意語 なし あり ( 単語文 二語文 多語文 日常会話可 ) : 保護者の希望
	模 倣 ・ 要 求 ・ 伝 達 ・ ジ ャ ス チ ャ ー	要求伝達手段（指さし・クレーン・身振り・サイン等）・文字の読み書き等具体的に記入してください : 保護者の希望
人 間 関 係	人 と の 関 係 ・ 意 識	人とのかかわり方の様子・父母や近い大人とのかかわり方の様子 : 保護者の希望
社 会 性	遊 び 方	感覚遊び 象徴遊び ( 見立て つもり遊び ごっこ遊び ) 一人遊び 並行遊び 協同遊び 集団遊び
	集 団 参 加	集団参加の様子（周囲の動きに気付く・順番・指示理解・待つ・ルールや約束事の理解・集団の中での役割が果たせる・用具の扱い方等 : 保護者の希望
	自 己 制 御	気持ちや情動の調整・情緒の安定（不安定）・喜怒哀楽の表現・多動傾向・行動上の特徴（性格等）・関係理解・場面理解・指示理解等 : 保護者の希望



⑤支援プログラム（１）

支援プログラム（１）

	主 題	室 内 遊 び	戸 外 遊 び	生 活	行 事
4	(全) 元気に登園しましょう	(乳) 室内にある遊具で遊ぶ 米、粉、年度、紙で遊ぶ 色塗り遊びをする	・公園で遊ぶ ・散歩をする	※幼児を中心に ・園の生活になれる ・一日の生活リズムを整えていく ・挨拶、返事をする ・汚れた手足を洗う ・自分で脱いだり着たりする	入園式 こどもの日集会 春の遠足
5	(乳) 色々なものを使って遊びましよう	紙さぶら遊びをする ふんふん遊びをする	・砂遊びをする ・泥んこ遊びをする		七夕祭り サマレク
6	(幼) 砂遊びや泥んこ遊びをしましょう	(幼) 紐土で遊ぶ 指輪の貝で遊ぶ 紙遊びをする			
7	(全) 水遊び、プール遊びをしましょう	(乳) シャボン玉遊びをする フィンガーペインティング をする	・泥んこ遊びをする ・水遊びをする ・プール遊びをする	夏休み	
8	(幼) 水遊び、プール遊びをしましょう	(幼) フィンガーペインティングを する 吹く遊び（シャボン玉、ハ ーモニカ）をする			
9	(乳) 身体を動かして遊びましよう	(乳) 箱入れ遊びをする 紐、シール張り遊びをする	・散歩をする ・全身を使って遊ぶ ・体育遊び（かけっこ、遊具） をする ・砂遊びをする	・順番を待ってられる ・みんなと一緒に行動する ・苦手なものでも少しは食べてみる	レクリエーション
10	(幼) 体育遊びをしましょう	(幼) 貼り絵遊びをする はさみで遊ぶ			
11	(乳) 音遊び、劇遊びをしましよう	(乳) 色々な音遊びをする 楽器で遊ぶ 劇遊びをする	・散歩をする ・公園で遊ぶ	年末お楽しみ会	
12	(幼) 年末お楽しみ会に参加ましよう	(幼) ごっこ遊びをする 共同制作をする 合奏や劇遊びをする			
1	(乳) みんなで楽しく遊びましよう	(乳) 工作をする 積み木、ブロックで遊ぶ 乗り物遊びをする	・散歩をする ・マラソンをする	・身体を充分に使って遊ぶ ・友達と一緒に遊ぶ ・身のまわりのことをすすんで行う	新年の集い
2	(幼) いろんな素材を使って遊びましよう	(幼) 創作をする ごっこ遊びをする			
3	(幼) みんなで楽しく遊びましよう	(乳) 簡単な集団遊びをする 色々な友達と遊ぶ 簡単な楽器遊びをする	・散歩をする		

※ 毎月1回 療育相談（動作法を中心とした親子面談、カウンセリング） 担当 今野義孝（文教大学教授）

※ 毎月2回 発達相談（発達相談、発達検査） 担当 水野優子（臨床心理士）

※ 毎月1回 O.T相談（感覚・行動を中心とした親面談） 担当 名成望（作業療法士）

⑥支援プログラム（２）

支援プログラム（２）

時 間	指 導 内 容	職員の様子
8：30		出勤 送迎
9：00	登園可能時間（必要に応じて、個別面談等）	保育準備
9：30	登園	受け入れ
	健康観察	※発達相談
	朝の支度（排泄・おたよりノート・タオルかけ等）	※療育相談
	個別指導（家庭生活での様子、保護者への指導）	
	自由遊び	
10：15	集会	
	あいさつ	
	リトミック、ピタフア、リズム遊び、歌	
	フォークダンス	
	排泄、水分補給	
11：00	戸外遊び、設定（課題）遊び	戸外遊び準備
	公園遊び、運動、散歩など	設定遊び準備
11：50	食事 片付け 歯磨き 排泄	給食準備
12：50	自由遊び	
13：00	帰りの集会	
	歌、ペープサート、紙芝居、挨拶	
13：30	降園	
	送迎者出発	
	個別指導、個別面談等	
	う	
13：30		後片付け、清掃
14：00		記録
		保護者との連絡調整
15：30		ミーティング
15：50		明日の準備
16：15		休憩
17：15		勤務終了